

# スリランカ民主社会主義共和国

(Democratic Socialist Republic of Sri Lanka)

## I 概要

- |   |   |
|---|---|
| 1. 人口<br>約 2,096 万人 (2015 年)              | 5. 1 人当たり国内総生産 (GDP)<br>3,924 ドル (2015 年) |
| 2. 面積<br>6 万 5,607 平方キロメートル (北海道の約 0.8 倍) | 6. 首都<br>スリ・ジャヤワルダナブラ・コッテ                 |
| 3. 政治体制<br>共和制                            | 7. 通貨単位<br>ルピー                            |
| 4. 言語<br>シンハラ語, タミル語 (公用語), 英語            |   |

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/srilanka/data.html>) (更新日: 2016 年 11 月 28 日)。

## II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013 年	95%	95%	95%
初等教育	2014 年	101%	102%	100%
中等教育	2013 年	100%	97%	102%
高等教育	2014 年	21%	17%	25%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

## III 教育行政制度

中央には、教育省が置かれている。教育省は初等中等教育、高等教育及び教員政策など、教育政策全般の立案や実施、監督に当たる。各州には、州教育省が置かれ、就学前や初等中等学校の運営に責任を負っている。州は複数の教育区に分けられ、区教育長が置かれている。

## IV 学校体系

(学年暦：1月～12月。大学は10月～翌年6月)

### 1. 就学前教育

就学前教育は、3～4歳児を対象に、幼稚園などの就学前教育機関で行われる。

### 2. 義務教育

義務教育は、5～14歳の9年である。

### 3. 初等教育

初等教育は、5歳入学で5年間、初等学校で行われる。

### 4. 中等教育

前期中等教育は、4年間、下級中等学校で行われる。

後期中等教育は、4年間、上級中等学校で行われる。第11年学年修了時には、全国試験が行われ、合格者にGCE-Oレベル資格が授与される。大学進学希望者は、GCE-Oレベル資格取得後、コレジイトと呼ばれる2年間の課程において大学進学準備教育を受け、第13年学年修了時に大学入学資格であるGCE-Aレベル資格の取得試験を受験する。

下級中等学校修了後、技術職業教育機関において、1年以上で技術職業修了証を取得できる。技術カレッジにおいては、GCE-Oレベル資格やGCE-Aレベル資格取得者を対象に、技術職業ディプロマ（1～2年）や上級ディプロマ（3年）の課程が提供されている。

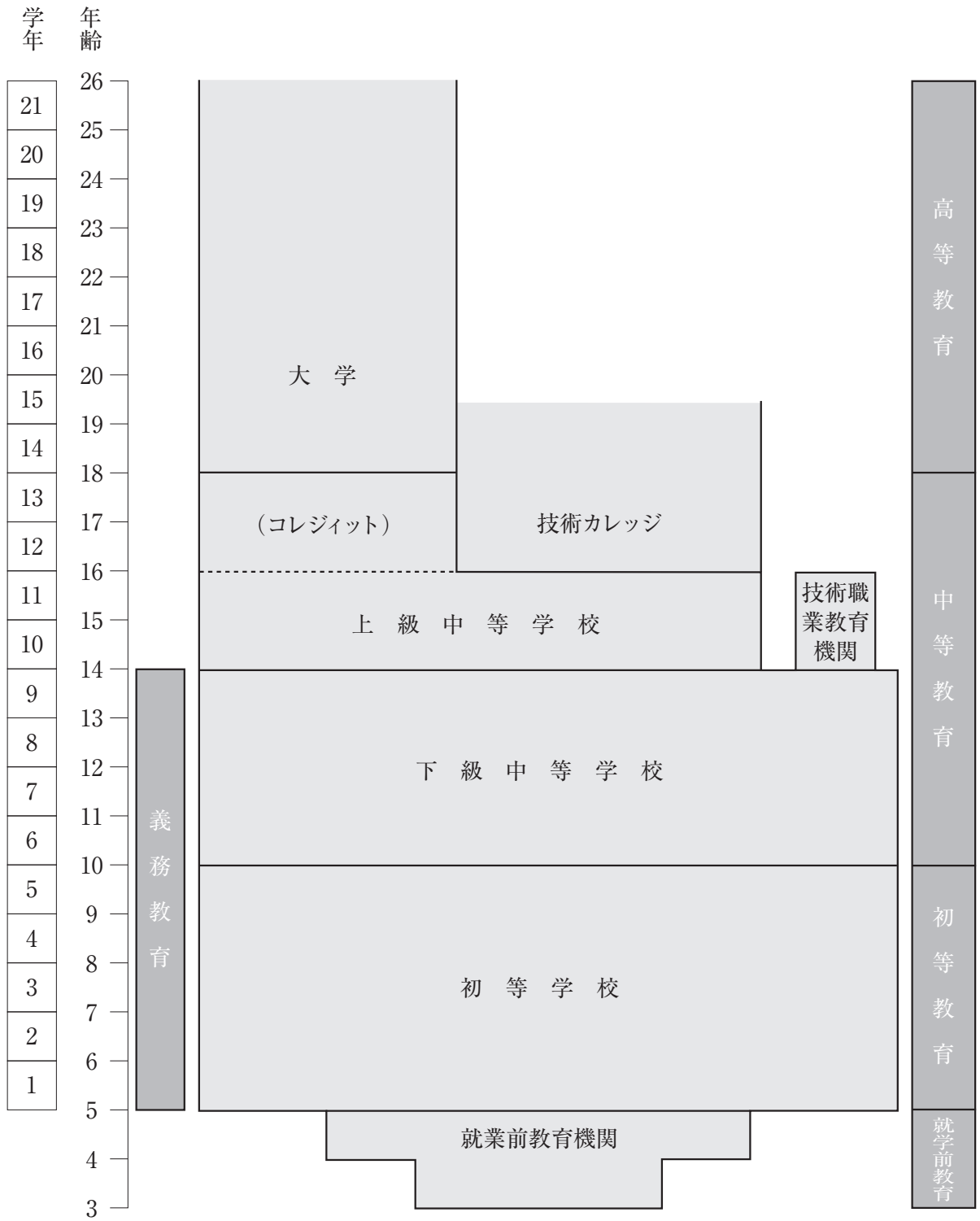
### 5. 高等教育

高等教育は、大学で行われる。入学に際しては、GCE-Aレベル資格試験の成績に基づく選抜が行われる。大学には、3～4年の学士又は4年の優等学士課程、2年の修士課程、2～3年の博士課程が置かれているほか、学士号取得者を対象とする、学卒サーティフィケート（1年未満）／ディプロマ（1年）もある。準学位レベルでは、上級ディプロマ（2年）などがある。

#### 《参考資料》

- Ministry of Education Sri Lanka, National Report The development of Education (2004年).
- UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- Australian Government, Country Education Profiles  
(<https://internationaleducation.gov.au/CEP/Subcontinent-And-The-Middle-East/Sri-Lanka/Pages/default.aspx>)  
(2016年7月6日閲覧).

### V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

